

令和5年2月15日

大和高田市都市計画マスタープラン（素案）に対する
意見募集（パブリックコメント）結果について

大和高田市都市計画マスタープランを策定するに当たり、案を公表し、意見募集（パブリックコメント）を実施しました。

その結果及び提出されたご意見とこれに対する市の考え方を整理しました。

(1) 意見募集期間

令和4年12月23日(金曜日)～令和5年1月16日(月曜日)

(2) 提出方法別の提出人数及び意見件数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
電子メール	2	2
直接提出	2	5
合計	4	7

(3) ご意見とこれに対する市の考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方	素案
1-1	大阪などへの根付いたベッタウンのイメージを変えるため、市民の動線を暮らしやすくすること、民間の企業を誘致し、活気ある大和高田市を取り戻すことが必要。大和高田駅のペDESTリアンデッキを利用し、トナリエを經由し、JR高田駅を通過でき、高田市駅にも行け、大和高田市役所にも、高低差の多い道を登り降りせず、信号待ちもせず安全に目的地まで行ける「ヒューマンハイウェイ」があればよい。	近鉄大和高田駅とJR高田駅の周辺は、県中西部地域の中心拠点駅として「都市拠点」に位置付け、拠点駅の駅前にふさわしい空間を形成し、両駅間のアクセス性を高めることで拠点の交通結節機能の強化を図ることとしています。	P19
1-2	旧市役所跡地に新・市立病院であれば、建設用地があり、駐車場も確保でき、前面道路も広く、スタ	本計画は、今後10年間の都市づくりの大きな方向性を示すことを主旨としており、具体的な施設の	-

	ーバックスカフェが併設で需要があると考える。	建替え方法については示していません。	
2	大和高田市の長所は「大阪方面への電車通勤者」「交通弱者＝高齢者（学生）」に対する優位性、目指すのは「市内全域 生活・交通至便な下町」。 求められるべきは大和高田市を今後どうしていくのかを策定、市民に分かりやすく開示し、理解を求め、突き進んでいく姿勢、運営とします。	今後の都市づくりは、地域住民、事業者、行政のパートナーシップによるまちづくりが重要と考え、わかりやすい情報発信、まちづくりのワークショップなどを通じて、まちづくりに積極的に関わっていただく機会の提供に努めたいと考えています。	P62
3-1	今ほとんどの市民が困っていることは、密集地区の狭い道路、段差のある道路、車や自転車のために隅っこに避難を繰り返し、ガマンにガマンを重ねていること。市役所職員たちが、議員が、歩いて、外に出て、実情を知ってほしい。市民の道路改善の要求は最も多いので、ここから都市計画に進めて下さい。	市民アンケート調査等でも「歩行者や自転車の道路の安全性」が多く挙げられ、課題であると認識しています。その対応として、「道路・交通整備方針」では生活道路等の改善により歩行者の安全性・快適性向上を図るとともに、「市街地整備方針」では密集市街地の狭隘道路の改善を図る方針を定めています。	P22 P25
3-2	市には、総合公園、JR 駅前広場、三重、和歌山、大阪、金剛山生駒にパノラマの遠い山脈、田園環境が守られたかけがえのない自然景観を保っている。総合公園は、すばらしい自然景観を有している。体育館の移転はしないで、そのままにして下さい。	「都市環境、景観の現状」として【金剛・葛城山系への眺望景観】を追記します。総合公園はレクリエーション拠点に位置付け、市民の健康づくりの場や、憩いの場として活用していく方針としています。	P16 P34 P61
3-3	大和高田市立病院は同じところに建替えて、今の建物 3 階を全部パーキングにし、基礎を強固にして、その上に 5 階建の幅広い病院にする。新しい建物は、ピンク色のまだ新しい病棟と 4 階以上をつなげる。そのために、新しい 4 階以上	本計画は、今後 10 年間の都市づくりの大きな方向性を示すことを主旨としており、具体的な施設の建替え方法については示していません。	-

	<p>の病院をまず先に建てる。そこに引っ越しし、それを駐車場に。そうすれば、良い環境のパーキング、玄関の混雑が改善する。</p>		
4	<p>「市街地の低密度化や都市のスポンジ化などが加速的に進行」していることを都市づくりの課題に挙げ、「市街化区域内の人口密度を確保」という基本目標に賛同しますが、「将来人口推計では、今後人口減少が加速することが見込まれ」と、記載されています。目標達成には、大胆な方針が必要ではないでしょうか。</p>	<p>コンパクトで利便性の高い市街地を維持形成していくため、まちなかへの居住の誘導を図り市街化区域内の人口密度を確保します。あわせて、都市のにぎわいや活力の創出を図るため、空き家の適正な管理と活用、低未利用地の暫定的な土地利用、市街地内の農地や緑地の保全活用などを促進します。</p>	<p>P16 P19 P20</p>